

京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想 (素案)

1. 背景

網野庁舎については、旧網野町役場として昭和43年6月に竣工し、平成16年4月の6町合併による京丹後市発足後も分庁舎方式により、庁舎として活用されてきました。約50年の間、市民の方々に親しまれてきましたが、経年による老朽化により網野庁舎の解体を決定し、平成30年12月に解体の実施設計に着手。令和2年6月に解体工事が完了しました。

一方で、跡地の有効活用について市から区長会へ検討を依頼。平成30年4月に網野町区長連絡協議会に「庁舎・跡地検討チーム」が発足。その後、「庁舎・跡地検討チーム」を発展解消し、あみのみんなのスペース未来ラボ（通称：あみラボ）が発足。検討を重ねた結果、最終的に、網野町区長連絡協議会が網野庁舎跡地活用構想（提言）をまとめ、令和2年3月に市長に提言書を提出しました。

2. 現状と課題解決に向けて

本市を取り巻く状況は、人口減少や少子高齢化の進行、空家の増加、若年層の流出（進学や就職で離れたまま帰ってこない）などの課題がある中、網野庁舎の取り壊しにより中心市街地に広大な空き地が出現し、更に活気を欠く状況となっています。

しかし、網野庁舎跡地の出現は、地域拠点として活用することで近隣施設との相乗効果により地域の賑わいを創出できるチャンスでもあります。当該跡地は網野町の中心市街地に位置し、近隣には金融、郵便、医療機関、スーパー、小規模店、地場産業振興センター、市民局、図書館、体育センターなど、日常生活に必要な諸機能が集積している立地のため、地域の方が集まりやすく利便性のある場所となっています。

そこで、網野庁舎跡地について、地域拠点としての活用を検討し、京丹後市網野庁舎跡地活用基本構想を策定するため、京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議を令和3年10月に設置。検討会議では、網野町区長連絡協議会から提出のあった網野庁舎跡地活用構想（提言）を踏まえながら、整備内容や施設を活用した地域の活性化について検討を行い、基本構想をとりまとめました。

3. 網野庁舎跡地の概況

網野庁舎跡地は中心市街地に位置し、アクセスしやすい立地となっている。

<位置図>



<網野庁舎跡地及び周辺図>



※網野庁舎跡地 7,376.17 m² (台帳面積)

4. 網野庁舎跡地活用方針

(1) 跡地活用の基本理念

人口減少、核家族化が進み世代間や地域間のつながりの希薄化や、進学や就職により転出した若年層が帰ってこない状況を踏まえ、幼少期からの「ひと」とのつながりや関わりを大切にして郷土愛を育み、故郷に帰る原動力につなげていく場所、市内外の「まち」をつなげて交流人口・関係人口の増加を目指していく場所、網野銚子山古墳に代表される「歴史」文化などの地域資源とのつながりを発信していく場所として、跡地活用の基本理念を次のとおり定めます。

**「ひと」と「まち」と「歴史」がつながり
“いきいき” “わくわく” まちの未来を育む交流拠点**

(2) 施設整備の基本方針

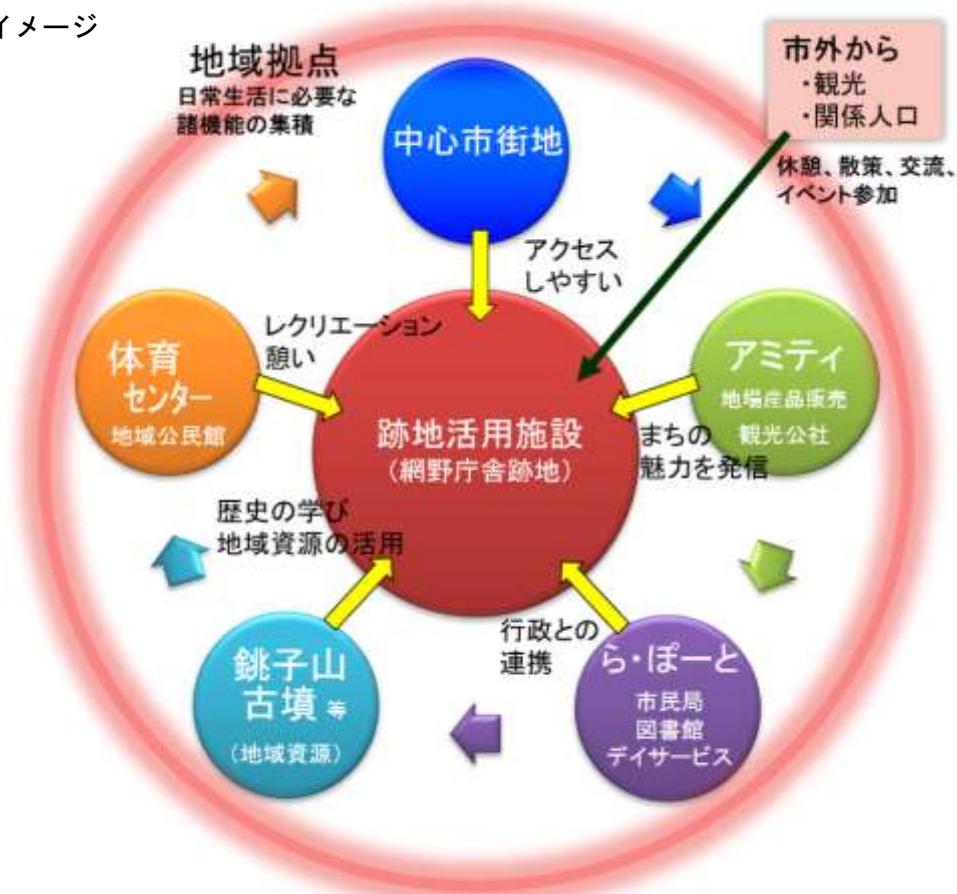
跡地活用の基本理念を具現化するため、施設整備の基本方針を次のとおり定めます。

- ① まちの協働・共創と学び合いの場
- ② 多世代交流（子どもからおじいちゃん・おばあちゃん）の場
- ③ 子育て親子の交流と遊びの場
- ④ 高校生や若者が未来へとチャレンジする場
- ⑤ まちの歴史と魅力を発信する場

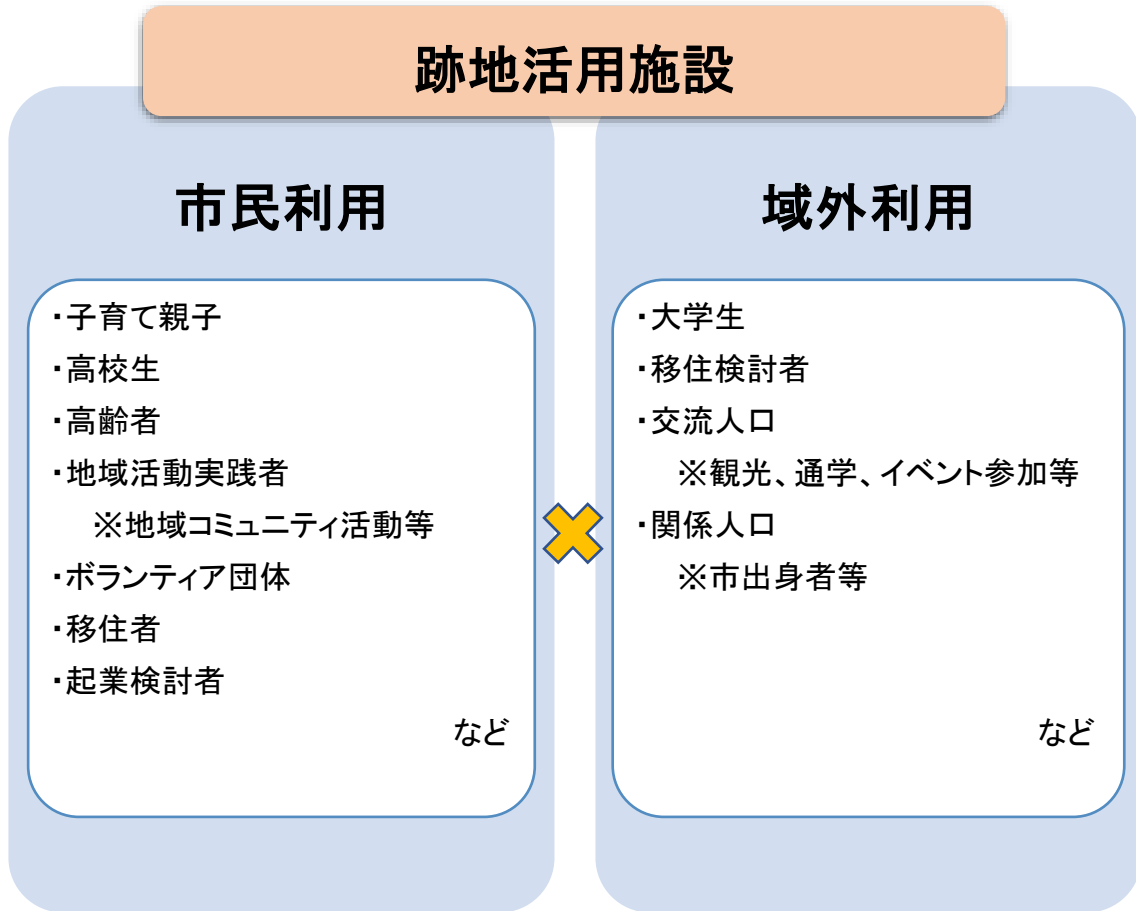
(3) 跡地活用のイメージ

網野町の中心市街地に位置し、アクセスしやすく、近隣施設との連携により相乗効果が図れる立地です。跡地活用のイメージを示します。

①施設利用のイメージ



交 流	<ul style="list-style-type: none"> •多世代交流の場 •子育て世代の交流の場 •住民自らが地域について話し合える場
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> •来る人がワクワクして集える場 •子どもが安心して遊べる場 •目的に合わせた多様な使い方ができる場
チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> •若者等のアイデアを実現に向けてチャレンジできる場 •チャレンジしたい人とサポートとしてくれる人を繋げる場
観 光	<ul style="list-style-type: none"> •魅力あるまちを発信する場 •市外の人にも気軽に来てもらえる場 •交流人口、関係人口を創出する場
歴 史	<ul style="list-style-type: none"> •網野銚子山古墳等の地域資源を活用する場 •歴史文化の学びの場
運 営	<ul style="list-style-type: none"> •将来を見据えた持続可能な運営 •各種団体×行政



(4) 跡地活用施設の内容

跡地活用の基本理念、施設整備の基本方針を踏まえ、整備する施設を「(仮称) 市民交流広場」と「(仮称) 市民交流センター」とし、施設の機能・設備については、今後進める基本計画・基本設計の中で、建築等の専門的知見、利用者の利便性や周辺施設との連携、整備面積、整備費用などを総合的に勘案し、各機能・設備を決定していくこととします。

① (仮称) 市民交流広場

視点・機能	目的	想定する主な内容
交流 賑わい	子育て世代や多世代の交流を図り、地域の子ども達が安心して遊べる場、また、来る人がワクワクして集える場の創出。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設 (3X3 バasketコート・ボルダリング・スケートボード) ・遊具施設 (屋根付き遊具) ・芝生広場 (ベンチ、夜間照明) ・緑化スペース (桜、紅葉) ・屋外ステージ ・EV充電スペース ・朝市スペース ・Wi-Fi設備
観光	市外の人にも気軽に来てもらえる場にすることで、交流人口、関係人口を創出。	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、駐輪場 ・バスターミナル
チャレンジ	アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場の創出。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナハウス (キッチンカースペース)

② (仮称) 市民交流センター

視点・機能	目的	想定する主な内容
交流 賑わい チャレンジ	子育て世代や多世代の交流を図り、住民自らが地域について話し合える場など、多様な使い方ができる場を創出。また、アイデアの実現に向けて実験・実証ができる場であり、チャレンジしたい人とサポートしてくれる人を繋げる場を創出。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てスペース、母親交流スペース ・交流スペース (憩いのスペース) ・ITスペース (プログラミング学習、コワーキング) ・フリースペース ・網野版 roots
観光 歴史	魅力あるまちを発信する場であり、網野銚子山古墳をはじめとしたまちの誇る地域資源や歴史文化を発信する場を創出。	<ul style="list-style-type: none"> ・網野銚子山古墳を望む展望台 ・歴史展示スペース ・Eバイク、レンタサイクル

視点・機能	目的	想定する主な内容
運営 コーディネート	集い交流する場として市民の参画による運営を目指すとともに、積極的な交流や連携を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン ・エレベーター ・Wi-Fi設備 ・音響設備 ・カフェ等の公募（自動販売機） ・管理事務室の設置

③その他

網野庁舎跡地の敷地内にある消防車庫について、現況の位置では跡地活用に支障をきたすことが考えられるため移転することとし、敷地内での移転を優先的に計画することとします。また、敷地内にある積雪計、地震計、都市下水路ポンプ施設については、現況の位置のままでも跡地活用への影響は少ないと考えられるため、存置する予定とします。

なお、旧網野幼稚園についてはこの基本構想には含めないものの、この基本構想とあわせて、そのあり方についても検討していきます。

(4) 事業スケジュール

本事業は庁舎増築棟整備にかかる網野庁舎別館の解体スケジュールに関係することから、事業スケジュールは現時点での予定であり、今後、変更となる場合があります。

年度	内容
令和4年度	基本計画・基本設計
令和5年度	実施設計
令和6～7年度	工事の実施

(5) 想定事業費

想定事業費は、網野庁舎別館の解体費用以外の事業費の見込みです。なお、想定事業費は現段階での概算額です。具体的な整備内容を検討する際に、改めて整備費用は算定します。

想定事業費：約●●億円

4. 関係資料

■京丹後市網野庁舎跡地活用構想検討会議設置要綱

■網野庁舎跡地活用構想検討会議委員名簿

■網野庁舎跡地活用構想検討会議 開催状況

■まちづくりに関するアンケート結果（中学生アンケート）